

科目名	情報処理 A	学年	
サブタイトル	インターネット社会における情報活用法と効果的な情報表現	単位	1
教員名	太田 信宏	研究室	1314
連絡方法	ohtan@bunkyo.ac.jp		
授業概要	PCとインターネットを有効活用できることが、現代社会に求められる必須の能力となっている。この授業のテーマはインターネットを中心とした情報活用法及び効果的な情報表現である。授業ではインターネットを利用した情報検索やコミュニケーション、ネット社会で必要とされる情報倫理やネチケットなどのネットワークリテラシーを学ぶ。また情報を効果的に表現する方法として、文書表現法のテクニック、プレゼンテーションの基本技法、ウェブページによる情報発信についても学習する。PCを使った演習形式の授業である。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・PCとインターネットを活用して効果的な情報表現ができる ・ワープロソフトを利用した様々な文書表現法を身につける ・プレゼンテーションソフトを利用して効果的なプレゼンテーションが行える ・ネット社会における情報倫理やモラルについての正しい知識を獲得する 		
授業計画 (1回)	1.授業オリエンテーション、ネットワークの環境設定、メール送受信		
授業計画 (2回)	2.情報スキル確認テスト		
授業計画 (3回)	3.情報検索の基礎と図書館データベースの利用		
授業計画 (4回)	4.キーボードタイピング、著作権と情報倫理 (eラーニング教材による学習)		
授業計画 (5回)	5.ワープロソフトによる文書表現1 (課題1-ビジネス文書)		
授業計画 (6回)	6.ワープロソフトによる文書表現2 (課題2-図形機能)		
授業計画 (7回)	7.ワープロソフトによる文書表現3 (課題3-長文作成機能)		
授業計画 (8回)	8.ワープロソフトによる文書表現4 (課題4-複合課題)		
授業計画 (9回)	9.ウェブページ作成の基礎知識		
授業計画 (10回)	10.効果的なウェブページ作成 (課題5-マイウェブページの作成)		
授業計画 (11回)	11.プレゼンテーションソフトの基本操作		
授業計画 (12回)	12.プレゼンテーション技法の基礎知識		
授業計画 (13回)	13.スライドの作成と効果的なプレゼンテーション		
授業計画 (14回)	14.学期末作品の作成 (課題6-プレゼンテーションスライド)		
授業計画 (15回)	15.作品発表・授業のまとめ・授業アンケート		
授業外での学修 (予習・復習)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で取り上げるソフトウェアの機能を事前に調べておくこと ・著作権と情報倫理に関するeラーニング教材をすべて学習すること ・キーボードタイピング (ブラインドタッチ) をマスターすること ・プレゼンテーション課題の作成後に、他学生の作品を鑑賞して比較・検証すること 		
授業外学修時間	各授業回の事前事後で1時間以上の授業外学修を目安とする。		
評価方法	評価の割合は、定期試験40%、授業中の課題25%、学期末の成果作品30%、平常点5%として100点換算する。定期試験はPCによる実技試験を行う。		
評価基準	定期試験 (実技試験) ではワープロによる文書作成を行い、情報表現の完成度を評価する。授業中の課題および学期末の作品については、成果物の完成度・内容・分量・センスを総合評価する。提出点+内容点の合計を点数化し、100点換算した点数で90点以上をAA、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、59点以下をDとする。		
フィードバック	提出した課題については、翌週の授業で解説を行い、必要に応じ補足説明をmanabaまたは授業ウェブページに掲載する。		
授業で使用するテキスト	資料を配付する。		
参考書	使用しない。		
受講生へのメッセージ	この授業では情報活用の基礎として、ワープロ、インターネット、電子メール、さらには情報発信に必要なプレゼンテーションについて学びます。パソコンを道具として自在に活用するための知識・技能をしっかりと身につけて下さい。また遅刻・欠席をしないよう注意して下さい。授業に対する姿勢・態度も評価のポイントになります。遅刻/早退は3回で欠席1回分とみなします。		
実務経験のある教員に関する情報			